作成·更新日

2024年8月9日

事業名	栃木県家庭	産教育オピニス	ンリーダー連合会佐野支部支援事業	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		李如		予算中事業名		∆≣∔		車無計画	出左庇	名ので
担当組織	部 課	教育部 生涯学習課			予算	会計		事業計画 新規or継続	単年度	深り返し 事業
四部批批	係	土柱子自珠社会教育係		栃木県家庭教育オピニオンリー ダー連合会佐野支部支援事業		項		市単独or国県補助		:尹未 虫事業
	体系コード			根拠法令、条例等	771	目		義務or任意		3.罗来 内事業
	基本目標			社会教育法(第11条)、栃木県	重業	開始年度	_	実施方法		<u>"于来——</u> 営
政策体系	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	家庭教育オピニオンリーダー連合		終了年度		事業分類		事業
	施策		生活を豊かにする生涯学習の推進	会佐野支部補助金交付要領	747[0]	心了千皮		于未力及	又以及	于木
2.事業 概 (1)事第 事業概要	美概要 栃木県家庭 図る。	き教育オピニオ	画期間内)目標値 ンリーダー連合会佐野支部へ補助金を交ん ンリーダー連合会佐野支部は、家庭教育振							
(2) [/ 2 〉 口槽は						
(2)目的) I			(3)目標値	24/4	l 50	D.4		D.C.	D.7
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	振 士 周宏原	≒数≤サピーナ	ンリーダー連合会佐野支部の円滑な運営	団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100
よって成し		≝叙申ルヒニル 全化を図る。	グラグー建立去性野女副の口角な座名							
遂げたい	こ対政の歴	工口に口る。								
状態)										
3.前年 度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	達移			I
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	【市の活動】			補助団体数	団体	1	1	1		
	·補助金交	付		間切四件数	шт	1	1			
活動実績			1							
加 <u>新</u> 夫順 (R5年度に			オンリーダー連合会佐野支部の活動】							
行った主な活	・支部研修			事業費計	千円	60	60	60		
動内容)	・安足ブロッ		ナ江卦 / 四暦も2 なっぱ 団笠をのざ	2 112 121						
	ランティア活		主活動(保健センターやこども国等でのボ	一般財源	十円	60	60	60		
	ラファイア/in 等	到なこ)		特定財源(国·県·他)	千円					
	7			(うち受益者負担)	千円					
(2) 7.				/ 4 \ = \\ = \	/ + - " 4	14.75		ļ.		-
(3) 活虫	かによる効果 			(4) 事業効果を説明する数			D4	DE	→選択して	
				効果指標 団体の補助金執行率	単位 %	R3 100	R4 100	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果は変わらない
効果説明	支操に FN	団体の目的で	である、家庭教育振興のための会員相互の	— 11 - 1102-23 — 17 1 13 - 1	70	100	100	100	III// AEVIACEVI	刈木は支わりない
(定量及び			でできまっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで							
定性)	INTISIX O IF									
/ - \		T /台科M产								
		果(自動判定		** 1 0 万円以上の増減により判断				効果		1
	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し 0指標	※10万円以上の垣滅により刊め			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わり	うない指標数	1指標		費	費用は下がった	7937KB <u> </u>	7,571405217 9 0 1	7937107 1 77 370	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	らた指標数	0指標		用	費用の増減無し		0		
4. 次年度 (1) 令和 引き続き補 (2) 上記	助金の交付 己反省点及で 事業の在り	事業実施におい と合わせ、適時 が課題を踏まえ 方検討(廃止	効果は変わらない かる反省点、環境変化や関係者からの意見を適切な助言や支援を行う。 なた、令和6年度及び令和7年度の取組、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	等を踏まえた検討課題、費用対		費用が増加した	課題			
	事業費の見 業務時間效	見直し検討 効率化のための	事務改善の検討 事務改善の検討 犬維持又は現状の計画通り)							

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成·更新日 2024年8月9日

	l = .			I	ı			1		
事業名	「小さな新	親切」運動	佐野支部支援事業	実施計画事業or一般事業		投事業		該当なし	総合戦略	
4 # +	‡ ±₽			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	細い行し
旦当組織	課	生涯学習課)′并下于未行	予算	款		新規or継続	継続	
	係	社会教育係		「小さな親切」運動佐野支部支援事業		項	4		市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)	事業	開始年度	S59	実施方法	直	営
以來冲示	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市社会教育関係団体補	期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	助金交付要領						
2 . 事業 概 (1)事第		なび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要			をいて、では、できるでは、できる。それでは、できるです。 それで でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でい				ひとして設立	した団体で	ある。	
(2)目的	5			(3)目標値						
, ,				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100
(本事業によって成し	「小さか親だ	刀心軍動佐野さ	を を き き 部の円滑な運営と財政の健全化を図る。							
遂げたい	173100000	/)](王圭/) (エエ) /	という 1月7年日に対政の歴史10年日で							
状態)										
									<u> </u>	<u> </u>
3.前年 原 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	趙移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	F	_		補助団体数	団体	1	1	1		
	【市の活動】	-		TIDES CONTROL OF THE PARTY OF T	12771					
活動実績	·補助金交	1寸								
(R5年度に	【「小さか到	切運動」佐野	古郊の活動】							
テった主な活		奶建新了性的 務教育学校多		事業費計	千円	50	50	50		
動内容)			による「小さな親切」運動の普及	—————————————————————————————————————	千円	50	50	50		
	等	2000 - 2 1 /2/0 (3				30	30	- 30		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
() , , , ,				効果指標	単位	R3	R4	R5		
+1				団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明 (定量及び	団体の目的	である、佐野	市内における「小さな親切」運動を普及推							
定性)	進を支援す	ることができた。	0							
		果(自動判定	2)	-						
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わり	つに指信数 うない指標数	0指標 1指標	-	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	うた指標数	0指標		用用	費用の増減無し		0		
1日标但41成)		指標全体	効果は変わらない	J	/13	費用が増加した				l
(1) 令和		 事業実施におい	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等を踏まえた検討課題、費用対	効果向	上のための	課題		_	_
(2)上訓	記反省点及で	が課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組							
- -				取組説明						
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討		•					
_			事務改善の検討	1						

作成•更新日 2024年8月9日

事業名	佐野ユネ	スコ協会	支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u> j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし		該当なし
L. 基本情		+/						= w = :		/BIGNE:
	部	教育部		予算中事業名	~ ~	会計		事業計画		繰り返し
旦当組織	課 係	生涯学習課 社会教育係		佐野ユネスコ協会支援事業	予算 科目		10	新規or継続 市単独or国県補助		事業 中事業
	体系コード	421		根拠法令、条例等	1741	目		義務or任意		3.尹杲 内事業
	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度		実施方法		<u> </u>
政策体系	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	社会教育法(第11条)、佐野		終了年度	-	事業分類		<u></u> 事業
	施策		生活を豊かにする生涯学習の推進	ユネスコ協会補助金交付要領		1111		2 2132277		
(1)事業	機要 佐野ユネス 佐野ユネス]協会へ補助]]協会は、ユ	画期間内)目標値 金を交付することにより、団体の事業活動を なスコ憲章の精神に基づき、教育・科学・文イ 図ることを目的として、日々活動している。						わせて地域	社会の向
(-) = "	_			(a) DIT						
(2)目的]			(3)目標値	774 / T	l p2	D.4	DE	D.C.	D.7
目的				効果指標 団体の補助金執行率	<u>単位</u> %	R3 100	R4 100	R5 100	R6 100	R7 100
(本事業に				日本の田の正本	/0	100	100	100	100	100
よって成し	佐野ユネス	コ協会の円滑	な運営と財政の健全化を図る。							
遂げたい 状態)										
J .//L/										
3.前年度 (1)活動		5動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推				
	【市の活動】			活動指標	単位	R3	R4	R5		
	•補助金交	付		補助団体数	団体	1	1	1		
	『 / / 田マコ ナコ	コカム の注ま	541	1132		_	_	_		
活動実績		(コ協会の活動 ペート・(巫和	』) の民話語り、平和の鐘を鳴らす運動)							
R5年度に		、 ノ (〒41) 界遺産移動:								
テった主な活動内容)			学校・高校との連携	事業費計	千円	70	70	70		
到19台)			きそんじハガキ回収運動、募金活動)	一般財源	千円	70	70	70		
	·音楽委員:	会コンサート			千円					
		業「『佐野の』	民話』英訳版」制作	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
	等			(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び			である、世界の平和への貢献、地域社会の							
` 定性)	回上と会員	相互の親睦の	D実施を図ることができた。							
			_,			I	<u> </u>	1	1	
		艮(自動判定						が ED		1
	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	-
効果	効果は変わら	おい指標数	1指標		費	費用は下がった	が水が上がった))))(iii)(ii)	MJACH 113 SIC	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	<u>0指標</u> 効果は変わらない		用	費用の増減無し		0		
(1) 令和	助金の交付の	選業実施におり と合わせ、適時 が課題を踏まえ	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 時適切な助言や支援を行う。 えた、令和6年度及び令和7年度の取組	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	上のための	課題			
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 直し検討 か率化のための	:、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 D事務改善の検討 け維持又は現状の計画通り)							

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成·更新日 2024年8月9日

事業名	後名 佐野市子ども会連合会支援事業		実施計画事業or一般事業	—#	一般事業		該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	輯									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課		佐野市子ども会連合会支援	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	社会教育係		事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		田	1	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)、佐野	事業	開始年度	S50	実施方法	直	営
TXW IT/I	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	市社会教育関係団体補助金	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	交付要領		•	•	•	•	•

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

佐野市子ども会連合会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、本市の社会教育の推進を図る。

事業概要 佐野市子ども会連合会は、市内26地区の子ども会育成会と連携し、子ども会育成会活動の充実と子どもたちの健全育成を図ることを目的として、日々活動している。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100
(本事業に								
よって成し	佐野市子ども会連合会の円滑な運営と財政の健全化を図る。							
遂げたい								
状態)								
ŕ								,

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	[+ o\TXL]	活動指標	単位	R3	R4	R5
	【市の活動】 ・補助金交付	子ども会安全共済会加入者数(小学生)	人	5,167	5,010	4,857
V-21/		子ども会ジュニアリーダー研修会参加者数	人	0	0	0
活動実績 (R5年度に	【佐野市子ども会連合会の活動】	佐野かるた取り大会参加者数	人	0	0	66
・ 行った主な活 動内容)	はなずりすても去達ら去のお動す・子ども会安全共済会への加入(通年)	事業費計	千円	1,040	1,010	1,050
到(1)台(・子ども会ジュニアリーダー研修会(中止)	一般財源	千円	1,040	1,010	1,050
	・佐野かるた取り大会(1月) ・子ども会育成者研修講座(中止)	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明	子ども会育成会活動の充実と子どもたちの健全育成を図ることができ							
(定重次0	た。							
正性)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
が田	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

「かるた取り大会」は開催することができたが、「子ども会ジュニアリーダー研修会」と「子ども会育成者講座」は開催することができなかった。

	(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び令和7	'年度の取組
--	-----	-----------------	------------	--------

П	事業の在り方検討	(廃止、	休止.	再編成.	受益者負担の見直しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

] 業務時間効率化のための事務改善の検討

─ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

①事業実施に向け、組織の体制強化を行う。

②開催方法や事業内容の見直しを行う。

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成·更新日 2024年8月9日

事業名	葛生ジュ	ニアリーダ	-スクラブ支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u> j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情				1		1		I		
		教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
旦当組織	課	生涯学習課		葛生ジュニアリーダースクラブ支援事業		款		新規or継続		事業
		社会教育係	A III	担地社会 夕周笠	科目	項 目	4	市単独の国県補助		中業 一
	体系コード	421	名称 名称 おかい た 充 3 . ヴィック 3 ** ナーブ・バク	根拠法令、条例等	==₩			義務or任意		り事業 一
政策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)		開始年度	547	実施方法	直	
	政策 施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	佐野市社会教育関係団体補助金交付要領	期間	終了年度		事業分類	文抜	事業
(1)事業	ლ		画期間内)目標値 ブへの運営補助をすることにより、団体の事	業活動を充実・安定させ、団体の	か活動に	こより、本市の	の青少年の	健全育成を	三図る。	
(2)目的]			 (3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100
(本事業に	昔 牛 ヅ _ ー =	7U # 75=	ᆊᇬᇚᄱᅅᄝᄨᄔᆎᅚᇬᄸᄼ <i>ᆘᆉ</i> ᅈᄀ							
よって成し 遂げたい	曷生ンユーノ	/リータースクフ	ブの円滑な運営と財政の健全化を図る。							
状態)										
3.前年度 (1)活動		手動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	趙移		·	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	F-1 - \ 71 7			補助団体数	団体	1	1	1		
	「市の活動」			TIDAJE ITI SA	PAIN.	_	_			
活動実績	•補助金交	付								
旧到天順 (R5年度に	r == 4- >» -		ーヴァンエエリ							
テった主な活		アリーダースク		事業費計	千円	150	150	150		
動内容)			事業の開催(チャレキャン塾)							
		事業に対しての)参加協力	一般財源	千円	150	150	150		
	等			特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	113					
(3)活動	たよる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移		•	↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
が未売め (定量及び			せ、本市における社会教育の推進を図る							
定性)	ことができた。	•								
(5)費用	対効果結果	艮(自動判定	2)							
費用(R5	とR4の一般!	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		0指標			I	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わら効果が下が		1指標 0指標	-	費	費用は下がった				
、 指標値増減)	<u>улж</u> л. Г. Л.	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した				
(1) 令和		事業実施におい	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 特適切な助言や支援を行う。	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	上のための	課題			
(2) 上記	2反省点及び	/課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組							
,		_, <u>,</u> 0,,,		取組説明						
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							
			事務改善の検討							

1 生活を豊かにする生涯学習の推進

作成·更新日 2024年8月9日

== ** /=			阳心丰业			n vu				
事業名	生涯楽智	ダノオーフ<i>じ</i>	A開催事業	実施計画事業or一般事業	— <u>F</u>	投事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	1. 基本情報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
	課	生涯学習課		- 生活学習 オーコル関係事業	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係			科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H29	実施方法	直	営
以來件水	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	_	期間	終了年度	_	事業分類	イベント等	開催事業

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

施策

事業概要

生涯学習社会の実現を目指し、市民が一堂に会して生涯学習のまちづくりや人づくりについて考え、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりにするとともに、楽習成果の発表の場を提供するイベントの開催。

(2)目的

遂げたい

状態)

目的 (本事業に よって成し

市民の生涯学習活動のきっかけづくりを提供し、参加・体験することにより、生きがい探しや交流の輪を広げる。学習成果の発表により新たな活動につなげ、地域での学びを活かした活動を促進する。

(3)目標値						
効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習ボランティア登録者数	人	430	435	440	445	450
楽習講師が社会へ還元した件数	件	300	310	320	330	340

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		延べ参加者数	人	_	1,000	2,000
	実行委員会を組織して「佐野市生涯楽習フォーラム2024『佐野楽』」を開催。	参加して良かったとする割合	%	_	86	83
イロエカノヘルス	日時:令和6年3月2日(土)、3日(日)					
	場所:佐野市文化会館	事業費計	千円	273	290	278
動内容)	内容: 2日 開会式典、基調講演、市長対談、分科会 両日 楽習フェア、静のアート作品展	一般財源	千円	273	290	278
	No Adviving Trunk	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

生涯学習ボランティア登録者数は年によりばらつきがあるが、楽習講師が社会へ還元した件数はコロナ禍が明けて増加傾向にある。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
生涯学習ボランティア登録者数	人	332	273	309	値が大きいほど良い	効果が上がった
楽習講師が社会へ還元した件数	件	50	159	184	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

(-) > ()	37 37/3FTFTAFTF ((-) > () > () > () > () > ()							
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し							
効果	効果が上がった指標数	2指標							
	効果は変わらない指標数	0指標							
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標							
指標值増減)	指標全体	効果が上がった							

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

幅広い年齢層の方、より多くの方に参加してもらうため、社会情勢に即した内容が求められる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

Г	1	事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

] 業務時間効率化のための事務改善の検討

─ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

講演会等を魅力的な内容にするとともに、周知の方法を工夫し、より多くの方の参加を促す。また、楽習成果の発表の場を提供することにより、生涯学習活動の促進を図る。

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり

生活を豊かにする生涯学習の推進

2 地域とともに学び育てるまちづくり

作成•更新日 2024年8月9日

直営

イベント等開催事業

H8 実施方法

事業分類

事業名 楽習出前講座開催事業				実施計画事業or一般事業	実施語	実施計画事業		1-①	総合戦略	該当なし	
					施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	青報										
	部	教育部			予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課		\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac	予算	款	10	新規or継続	継続	事業	
	係	生涯学習係		楽習出前講座開催事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業	
	体系コード	421 名称		根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	 事業	

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

基本目標

政策

施策

事業概要

政策体系

5人以上の団体・グループ等の要望に応じて、市民が自主的に運営する講座に、楽習講師及び市職員を派遣し、講話や実習などを行う。講座内容は、広報さの・ 市ホームページ・生涯学習メニューパンフレットにより周知する。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

学習グループは、学習の機会及び市民と交流する機会を確保するこ とができる。

楽習講師は、学習成果を発表する機会及び市民と交流する機会を 確保することができる。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
-	出前講座実施回数		100	100	110	120	130
	出前講座登録メニュー数	講座	220	220	225	230	235
2							

事業

期間

開始年度

終了年度

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	●楽習講師登録者数:126【個人】95人【団体】31団体	出前講座受講者数	人	516	1,677	2,028
	●楽習出前講座登録数: 2 1 6	出前講座開催数		38	87	114
活動実績 (R5年度に	▲ 楽翠児前講座宇施状況・114	楽習講師登録者数	人	143	130	126
行った主な活		事業費計	千円	39	57	48
動内容)	【行政編】40回(受講者数:594人)	一般財源	千円	39	57	48
	●実施された主な講座の内容:消費生活講座、紙バンドで編むか ごとバッグ、民話語り、防災のはなし 等	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
	このバッグ、氏面面が、例次のはなり 寺	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

出前講座登録メニュー数について、楽習講師編は減少したが、行政 編は増加した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	出前講座実施回数		38	87	114	値が大きいほど良い	効果が上がった
ζ	出前講座登録メニュー数	講座	224	218	216	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
か田	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

|魅力あるボランティア活動として定着するよう、楽習講師の活動の場を広げる必要がある。そのため、出前講座の活用事例の紹介や楽習出前講座の広報を充実させる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
THOUSE TO THE PROPERTY OF THE		、又無日只担の元担しるこ

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

広報やホームページ等で出前講座を周知することで、登録講師数・講座利用者数の増加を図 るとともに、学習のニーズを把握し新規の利用を促す。また、オンライン講座については、要望があ れば対応していく。

地域とともに学び育てるまちづくり

生活を豊かにする生涯学習の推進

作成•更新日 2024年8月9日

事業分類

イベント等開催事業

事業名 生涯学習推進支援事業		実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	1-①	総合戦略	該当なし		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	青報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課		 	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係		土柱子首推進又拔尹耒	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	与事業
办签件交	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	Н3	実施方法	直	営

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

政策

施策

事業概要

政策体系

市民が主体となった生涯学習のまちづくりを推進するため、生涯学習を推進する民間団体等と連携・協働しながら、効果的に生涯学習施策・事業を展開する。具体 的には、楽習講師による企画講座がある。

(2)目的

(3)目標値

	楽習講師が学習成果を活かした講座を積極的に企画する。 市民が生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、多くの講座に参加す
遂げたい	వ 。
状態)	

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
楽習講師登録者数	人	170	155	160	165	170
一人あたりの楽習講師が社会還元した件数	件	2.2	2.4	2.2	2.2	2.1

期間

終了年度

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(活動指標	単位	R3	R4	R5
		楽習講師企画講座開催回数		12	19	23
		受講·参加者数	人	132	134	284
		事業費計	千円	0	3	11
		一般財源	千円	0	3	11
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

令和4年度に比べ、楽習講師の登録者数は減少しているが、企画 講座開催数や楽習フェア参加講師数が増加したため、学習で培った 知識、技術を社会に還元する割合が増加した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
.	楽習講師登録者数	人	143	130	126	値が大きいほど良い	効果が下がった
티	一人あたりの楽習講師が社会還元した件数	件	0.3	1.2	1.5	値が大きいほど良い	効果が上がった
ر							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
か田 -	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

魅力あるボランティア活動として定着するよう、楽習講師の活躍の場を広げる必要がある。そのため、企画講座の紹介や広報を充実させる。

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)			
☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討				

□ 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

学習成果を活かした講座を積極的に行えるよう支援を行い、新たなボランティア講師の登録を促 進するための講座を行う。また、オンライン講座については、要望があれば対応していく。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成•更新日 2024年8月9日

事業名	佐野市小中義務教育学校PTA連絡協議会支援事業			実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
			施策横断的な取組との関連性				該当なし		該当なし			
1. 基本情	輯											
	部 教育部			予算中事業名		会計		事業計画	単年度			
	課	生涯学習課		佐野市小中義務教育学校 P T	予算	<u> </u>	_	新規or継続	継続	2 /14		
	係	社会教育係	h 1L	A連絡協議会支援事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独			
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的			
政策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度 終了年度		実施方法 事業分類	直営			
	政策		地域とともに学び育てるまちづくり						支援	事業		
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	加成乙間切並入り女 次								
2. 事業 概 (1)事業		なび(基本計	画期間内)目標値									
		中義務教育学	校PTA連絡協議会へ補助金を交付する	ることにより、団体の事業活動を充	で実・安況	定させ、団体	本の活動に	より本市の社	上会教育の持	隹進を図		
事業概要	వ 。											
			校PTA連絡協議会は、市内のPTA村						A 活動をi	通じて、青		
	少年の健全育成と福祉の増進を図り、学校教育・家庭教育・社会教育の充実振興に寄与することを目的として、日々活動している。											
(2)目的				(3)目標値								
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的				団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100		
(本事業に	佐野市小中	中義務教育学	校PTA連絡協議会の円滑な運営と財									
よって成し 遂げたい	政の健全化	どを図る。										
状態)												
。 ☆ 左ば	まの中継(2	エチェルルボボロ	++*+ FR \ =\									
ろ. 削平 ほ (1)活動		白勁及び負用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	_ <i>_5</i> 7571	主学書のは	4 较					
(1) /口当	大恨							- D.F				
				活動指標 	単位	R3	R4	R5				
	【市の活動】	-		補助団体数	団体	1	1	1				
	・補助金交	付										
活動実績												
(学校PTA連絡協議会の活動】									
テった主な活動の かんこう		員会の開催 なへの事業	TT/(C \	事業費計	千円	0	0	0				
動内容)			研修会(キャリア教育)の開催	一般財源	千円	0	0	0				
		ラムの開催										
	等			特定財源(国・県・他)	千円							
				(うち受益者負担)	千円							
(3)活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい		
(-)				効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較		
			である、学校教育・家庭教育・社会教育の	団体の補助金執行率	%	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない		
ハンントロンローノン			ことをができた。									
•			、新型コロナウイルス感染症の影響等により 制助金が不要となったため、変更交付決定									
	により補助金を返納してもらった。 											
(5)費用	引対効果結果	果(自動判定	2)									
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果				
効果	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
アリスト (R5とR4の	効果は変わり効果が下が	うない指標数 ったお標数	1指標 	-	費	費用は下がった						
指標値増減)	<u> </u>	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した						
				<u> </u>								
4. 次年度	をに向けた検	討										
(1)令和]5年度の事	『業実施におけ	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	.等を踏まえた検討課題、費用対	効果向	上のための	課題					
令和5年度	ほは、令和3	・4年度同様	に新型コロナウイルス感染症の影響等により	0開催できない事業があり補助金	が不要	となったため	、、変更交	付決定によ	り補助金を	返納しても		
らった。												
引き続き補	助金の交付	と合わせ、適時	持適切な助言や支援を行う。									
(2) 上詞	尼反省点及び	/課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組		ı							
				取組説明								
_			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)									
			事務改善の検討									
	事業費の見	は直し検討		I								

作成·更新日 2024年8月9日

事業名	佐野市原水爆禁止協議会支援事業			実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
子术·日 [江田·旧水八八米八正加加水及入水子木				施策横断的な取組との関連性						該当なし		
1. 基本情	青報											
	部	教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	171177		
旦当組織	課	生涯学習課		佐野市原水爆禁止協議会支		款	10	新規or継続		事業		
	係	社会教育係	A Th	援事業	科目		4	市単独or国県補助		虫事業		
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	W	目		義務or任意		り事業 ・***		
政策体系	基本目標	4	かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)、佐野		開始年度		実施方法	_	営		
	政策 施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	」市原水爆禁止協議会補助金 交付要領	期間	終了年度	-	事業分類	文援	事業		
2.事業 根 (1)事第	既要と目的及		画期間内)目標値	Allam	I							
事業概要	佐野市原水爆禁止協議会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 佐野市原水爆禁止協議会は、平和のためすべての国の原水爆禁止並びに被爆者救護の為に努力し援助を行うことを目的として、日々活動している。											
(2)目的	5			(3)目標値								
(=/ =:	<u>-</u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的				団体の補助金執行率	%	100			100	100		
(本事業に	<i> </i>	小児林・L+カミ羊	ᄼᇬᇚᇩᆉᅚᆕᅛᆉᇄᇬᄸᄼᄽᅔᅈᄀ									
よって成し 遂げたい	佐野巾原刀 	《爆票止協議	会の円滑な運営と財政の健全化を図る。									
状態)												
2 前年日	テルマタキ (ご	エ私 ひょご弗 田	対効果)説明									
). 削牛 ほ (1)活動		当割及び負用	对 对未/ 武ሣ	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	詳移					
(-)	7.A.R.			活動指標	単位	R3	R4	R5				
	「士の迁動」	ı						11.5				
	【市の活動】 ・補助金交	•		補助団体数	団体	0	1	1				
	開助並又	ניו										
活動実績	 <i> </i>	水爆禁止協調	美仝の活動 】									
(R 5 年度に テった主な活		小塚宗正励詩 済カンパ活動	成立の心動]	市光井二	7 M	0	F0	F0	l.			
動内容)			(広島大会) への派遣	事業費計	千円	0	50	50				
			「真の展示(市民活動スペース)	一般財源	千円	0	50	50				
	等			特定財源(国·県·他)	千円							
	,,			(うち受益者負担)	千円							
				(プラ文価行兵担)	117							
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数値データの推移			1	1	↓選択して下さい			
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質			
効果説明	+1=1-10			団体の補助金執行率	%	0	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない		
(定量及び			である、平和のためすべての国の原水爆禁									
定性)	止並びに被爆者救護の為の努力・援助の実施を図ることができた。 											
: ::		- // : :				1	<u> </u>	I	<u> </u>			
		果(自動判定 出海(第141)		WA O TITLE I A MOSSIC LIQUIDIC				***		1		
	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった			
効果		おい指標数	1指標		費	費用は下がった	刈未が上がりに	刈木は多りりない	刈来が下がりた			
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が		0指標		用	費用の増減無し		0				
16 保险省域)		指標全体	効果は変わらない	J	713	費用が増加した						
(1) 令和		■業実施にお!	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向]上のための	課題					
いら心に合作	必重の文刊	し口1/ビ、旭中	アス1女で11 プッド メルタで11 プッ									
(2)上調	己反省点及び	グ課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	<u> </u>							
	事業効果を 事業費の見	上げるための!	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 事務改善の検討									
V	特に検討事	項無し(現物	犬維持又は現状の計画通り)									